琉球大学学術リポジトリ

国際シンポジュウムについて

メタデータ	言語: 出版者: 南方資源利用技術研究会 公開日: 2014-10-26 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/0002017482

【国際シンポジュウムについて】

東南アジアにおけるバイオマス利用に関する国際シンポジュウム

INTERNATIONAL SYMPOSIUM
on
UTILIZATION OF BIOMASS
in
THE TROPICAL AREA

以前よりお知らせしております国際シンポジュウムにつきましては，去る１０月より本会の実行委員会が発足し，詳細なつめの段階に入っております。当初の計画より外国人の参加者が大幅に増える予定で，後述のように，４月２日の特別講演だけでなく，４月３日，４日と３日間にわたる盛りだくさんのシンポジュウムとなりそうです。ニュースレターＮｏ．３の内容と一部重複しますが，プログラムなどに関する事務局の案ができましたので，シンポジュウムに関連する記事を一括して掲載します。会員以外の方々もお誘い合せの上，多数参加いただくことを期待します。なお，県外の参加者の便宜を図るために宿泊，航空券を含めた参加申込み書を同封しましたので，御利用ください。

１．　要　　旨

世界の資源・エネルギーの需給の将来を考える時に，生物資源（バイオマス）の利用は極めて重要な位置を占めており，その利用技術の開発が各地で進められている。これら生物資源の賦存量が熱帯・亜熱帯地域において特に大であることは論ずるまでもないことであり，わが国としては東南アジアのこれらの資源にますます依存しなければならない。しかしながら，生物資源の開発に当たっては慎重に取りかからなければ賦存国の自然環境を破壊し，公害をもたらす恐れがあり，また，消費国の立場からのみの利用技術開発を行えば資源収奪のそしりを免れ得ない。即ち，生物資源を今後有効に利用し，開発して行くためには，資源供給国と消費国の研究・技術者が一堂に会し，将来の研究方向について論議を行う必要がある。

一方，沖縄県は県自体が亜熱帯地域に属し，生物資源の利用の面からはわが国で最も有利な地域であるばかりでなく，東南アジア諸国との交流の拠点となるべき位置にあり沖縄県が研究を進めて行くべき重要な分野である。

そこで，南方資源利用技術研究会は，バイオマス関連技術に最も熱意を示している農業機械学会の全国大会がたまたま沖縄において開かれるのを機に，同学会の協力を求め，東南アジア諸国の生物資源関係研究者を招き頭記のシンポジュウムを開催することを企画した。

沖縄県は東南アジア諸国との交流による発展を県是としており，また国際交流センターも沖縄県に設置されることから，沖縄県における国際シンポジュウムの開催は東南アジア諸国からの研修生受入れに対して沖縄県の指導能力が評価されていることを広く示す意味でも重要であろう。

2．　共　　催

日本農業機械学会，沖縄県，国際協力事業団（ＪＩＣＡ）

3．　開催期日および会場

1）期日　昭和５８年４月１日（金），４月２日（土），４月３日（日），４月４日（月），４月５日（火）

2）会場

琉球大学農学部　〒９０３－０１沖縄県西原町千原５９　☎０９８８９－５－２２２１

パシフィックホテル　〒９００　那覇市西３－５－１　☎０９８８－６８－５１６２

4. シンポジュウム プログラム（事務局案）

＊４月２日（土）（パシフィックホテル）

9：00 開会の辞 梅田 重夫（大阪府立大学）
歓迎挨拶 國府田佳弘（琉球大学）

OPENING LECTURE

アジアにおける森林資源の利用と保護
Kamarddin A.（ボゴール農科大学副学部長，インドネシア）
アジアにおける開発中の経済植物の探索目録
－重要かつ緊急に必要とする経済植物学理論－
T.Koyama（ニューヨーク植物園アジア部長，N. Y. 市立大学，米）

REVIEW SESSION, PART I

10：30 SECTION I. エネルギーとしてのバイオマスの利用

1. 農産物乾燥への固形バイオマスの利用
E.Luzada（フィリッピン大学，フィリッピン）
2. 液状エネルギー源としてのバイオマスの利用 竹田 策三（三重大学）
3. メタンガスとしてのバイオマスの利用 山沢 新吾（筑波大学）
4. パームオイル製造廃棄物のエネルギー源としての利用
K.K.Chin（シンガポール国立大学，シンガポール）
5. 植物油からの重油の製造
Aldo M.（サンパウロ州技術研究公社，ブラジル）

13：30 SECTION II. 生物産業における残渣および廃棄物の新資源としての利用

1. 畜産廃棄物をバイオマス資源として利用する際の工業技術
E.P.Taiganides（FAOシンガポール駐在員，オハイオ大学，米）
2. 有機質廃棄物の再利用 小林 達治，吉田 忠幸（京都大学）
3. タイ国における農業残渣の利用の現状と将来
W.Arthayukti（チュラルンコン大学，タイ）
4. 廃棄物の好気性発酵
R.Almudi（サンパウロ州技術研究公社，ブラジル）

バイオマス・ランド SESSION

15：30 1. 沖縄におけるバイオマス・ランド計画の概要 森田 大（琉球大学）

2．沖縄のバイオマス・ランド計画の評価
I.Gochnarg（サンパウロ州技術研究公社，ブラジル）

＊ ポスターセッションも予定しております。

18：00 懇 親 会

＊4月3日（日） （琉球大学農学部）

REVIEW SESSION, PARTⅡ

9：00 SECTION Ⅲ. 熱帯地域におけるバイオマス利用の将来

1．アジアー太平洋地域におけるバイオマス資源の開発と環境条件
M.A.Aziz（シンガポール国立大学，シンガポール）
2．日本におけるホテイアオイの利用の現状と可能性
金城 晴朗（沖縄県農業試験場）
3．サンパウロ工技研におけるブラジル農業の将来に向けての天然資源研究センター設立計画 T.Morita（サンパウロ州技術研究公社，ブラジル）

11：00 SECTION Ⅳ. バイオマス資源のパルプとしての利用

1．熱帯産繊維質の過酸化水素法（PAP）によるパルプ化
御田 昭雄（工業技術院化学技術研究所）
2．ブラジルにおける竹のバイオマス資源としての利用とその将来
A.Azzini（カンピーナス農業技術研究所，ブラジル）

13：00 講演会「沖縄とアジアポート」へ参加（希望者のみ）

＊4月4日（月） （琉球大学農学部）

9：00 特別講演

1．中国における石油工業排水の農業用水としての利用
呉 紺中（中国科学院林業土壌研究所副所長）

2．パームオイル工場における溢流物の好気性菌処理における動力学
H.A.Ming（マラヤ大学，マレーシア）

10：00 一般講演 希望者（発表申込みの項参照）。

5．日　程

	シンポジューム	レディス　コース
4／1（金）	バンケット（19：00－21：00） （パシフィックホテル）	－－－－－－
4／2（土）	特別講演（9：00－17：30） （パシフィックホテル） 懇親会　（18：00－21：00） （パシフィックホテル）	那覇市内（琉球舞踊，琉球人形講習）懇親会 同左
4／3（日）	特別講演（9：00－12：00） （琉球大学農学部）	久米島観光（一泊）
4／4（月）	特別講演および一般講演（9：00－17：00） （琉球大学農学部）	同上
4／5（火）	見学会A・B・Cコース ポストコングレスツアー第1便出発（予定）	同左
4／6（水）	見学会Cコース（2日目） ポストコングレスツアー第2便出発（予定）	同左

6．　シンポジュウムへの参加および講演申込み

1）参加申込み要領　シンポジュウム参加申込みは同封の申込み用紙（A）によって下さい。一般講演に研究発表を希望される方は下記の要領で，申し込んで下さい。発表の申込みは任意です。なお，申込み件数が極度に超過した場合は調整させていただきます。

（1）プロシーディング原稿用紙請求先　原稿用紙は本会事務局宛にご請求下さい。請求はできるだけまとめてお願いします。原稿作成要領は同封します。

（2）プロシーディング原稿締切日（即発表申込み締切日）

昭和５８年１月３１日（必着のこと）

（３）プロシーディング原稿用紙送付先　本会事務局宛にして下さい。原稿を送付される際，必ず原稿のコピー２部（プログラム編成用に使用）と原稿受理通知書（官製ハガキに住所・氏名，裏に講演題目をお書き下さい）を同封して下さい。

（４）一般講演の発表会場と発表時間　会場は琉球大学農学部で，１会場とします。１演題１５分の予定ですが，講演総数によって最終決定します。

（５）スライドなど　スライドは１演題につき１０枚以下（原則）とします。その他ＯＨＰの準備も可能ですので，ご希望の方はその旨原稿送付の際に，お申しこし下さい。

２）　参加料　参加料は現在検討中ですが，本会会員は１，５００円程度を予定しております（プロシーディング代は別）。当日受け付けにお支払い下さい。なお受け付けは，４月１・２日はパシフィックホテル，４月３日は琉球大学で行います。

３）　懇親会　４月２日，１８：００～２１：００において，パシフィックホテル沖縄で懇親会を行います。会費は５，０００円を予定しています。懇親会の参加申込み受付は宿泊などとまとめて別途受付いたします（同封の沖縄ツーリスト（株）の申込み書（Ｂ）によって下さい）。なお，会場での申込み受付は原則としていたしません。

４）　見学会　見学会は３コースを予定しております。

①　Ａ（南部）コース：３，５００円（予約金１，０００円，昼食付）

内容：守礼の門，農業試験場（ミバエ防除施設，ケーンハーベスタ実演），製糖会社，食肉センターおよび南部戦跡（ひめゆりの塔，摩文仁ケ丘，玉泉洞）

（４月５日，８：３０－１６：００）

②　Ｂ（中部）コース：３，５００円（予約金１，０００円，昼食付）

内容：守礼の門，農業試験場（ミバエ防除施設，ケーンハーベスタ実演），製糖会社および中部

一帯（海中道路，宮城島，東南植物楽園）

（4月5日，8：30－16：00）

③ C（北部）コース：14，500円（予約金2，000円，4食・宿泊付）

内容：守礼の門，農業試験場（ミバエ防除施設，ケーンハーベスタ実演），製糖会社，農業視察，オリオンビール工場，海洋博記念公園，熱帯植物園

（4月5日，9：00→（1泊；屋外バーベキューパーティ）　4月6日→15：30（ホテルまたは空港まで））

5）宿泊・航空券・懇親会・見学会などの申込み

シンポジュウムに関する諸申込みにつきましては同封の沖縄ツーリスト（株）よりの申込み用紙によって下さい（申込み用紙（B）は農業機械学会と同じものを用いましたので，ご了承ください）。なお，申込み業務をスムースに行うために，複数の会員が所属している機関には，世話人を依頼し取りまとめていただきたく考えておりますので，世話人に指名された方はよろしくお願いします。

＊　申込み方法

（1）　申込み用紙に必要事項を記入の上，費用の全額または予約金を添えて2月10日までに所属の世話人に提出して下さい。

（2）　世話人の方は2月19日までに申込み用紙を沖縄ツーリストへ郵送，同時に予約金を沖縄ツーリストの指定銀行に振込下さい。単独申込みの方も2月19日までにお願いします。

（3）　費用残金の精算は，3月25日までに下記の指定銀行へ振込下さい。

（4）　申込まれた方には3月20日までに沖縄ツーリストよりセット旅行券を送りますので，出発当日持参して下さい。

（5）　申込み用紙の送付先および振込指定銀行

㊦900那覇市前島2丁目21－8　沖縄ツーリスト（株）観光部「農機大会」係宛

℡0988－62－5801（代表）　担当者：棚原　健

振込先指定銀行：琉球銀行　那覇支店

口座番号：普通預金　No.１８２６４７，　口座名義：沖縄ツーリスト（株）観光部

（６）　取消・変更のある場合には至急連絡下さい。この場合一部取消料を申し受けます。

＊申込みに付いての相談は最寄の沖縄ツーリストもしくは事務局宛連絡下さい。

６）　ポストコングレスツアー　　石垣島・西表島へのポストコングレスツアーの申込みは，５）に準じて行います。出発日は４月５日（Ｐ－１便）および６日（Ｐ－２便）を予定しています。見学会との兼ね合いで都合のよい日を選んで下さい。但し，人数によっては中止になる便もあります。

料金：￥４８，０００円（予約金３，０００円）

第１日目：７：５５那覇空港→石垣島→西表島→石垣市一泊

第２日目：午前中自由行動，１３時ごろ空港→　那覇空港→　本土へ

７）　レディス　コース　　レディス　コースの期間は４月２～４日とします。４月５日以降は見学会もしくはポストコングレスツアーに合流できます。参加申込みは５）に準じて行います。

＊　那覇市内コース：￥８，０００円（予約金２，０００円）

４月２日　琉球人形作り（午前Ｌ－１コース：３，０００円）の講習もしくは琉球舞踊（午後Ｌ－２コース：５，０００円）

人形はお持ち帰りできます。なお，個別申込みもできます。

＊　久米島観光コース（Ｌ－３コース）：￥２３，０００円（予約金３，０００円）

４月３日～４日　島内観光

会 場 案 内 図

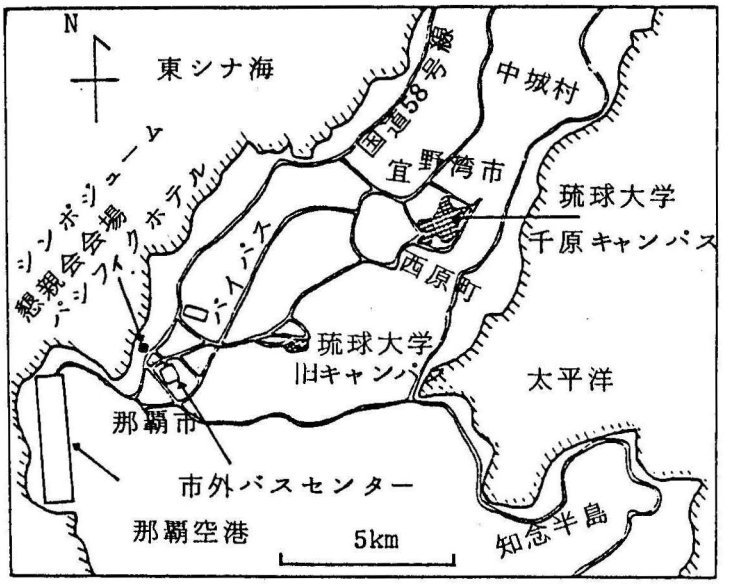

図 1　大会場付近の概略図

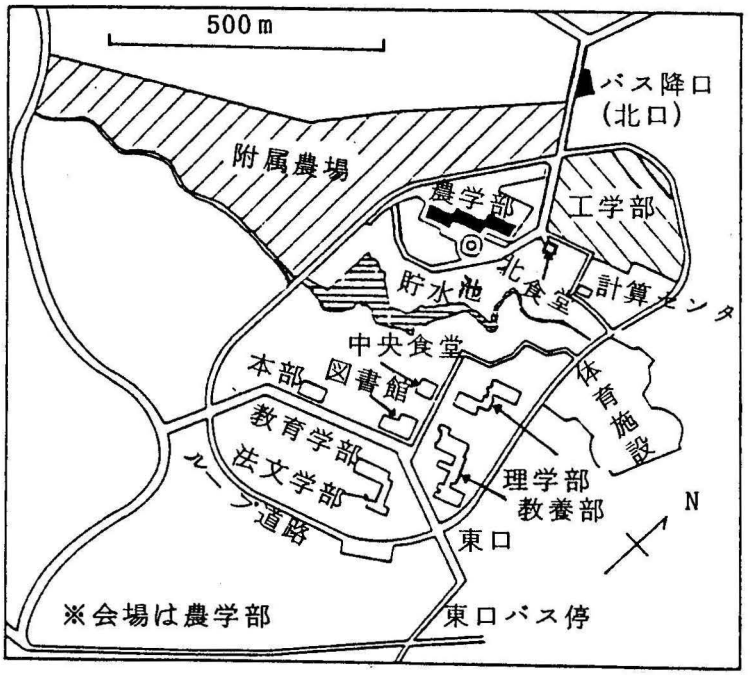

図 2　琉球大学千原キャンパス概略図